

2019年度

オレンジリボン支援団体活動報告書

福井県立鯖江高等学校 JRC 部



管理番号

1489

2019年度のオレンジリボン運動活動報告

①事前に取り組んだ内容

・本校では保育、幼児教育の分野に興味があり、こどもと関わる進路を選ぶ生徒が一定数いる。選択科目に「こどもの発達と保育」という講座ももうけている。仁愛大学こども学科の講師に出前授業もしていただき、こどもに関わる問題について学んでいる。

・今年度は7月に福井市内ショッピングセンター、10月に福井市日赤福井会場、11月鯖江市内での啓発運動を企画した。(7, 10月は昨年度とほぼ同じ)

7月：3年生部員と有志生徒計4名が、福井市ボランティアネットより「子ども虐待防止・啓発運動ボランティア」に申し込み、リーダーの方にお話を伺い、パンフレットや啓発グッズを通してオレンジリボン運動について知識を深めた。

10～11月：1, 2年生部員が県 JRC 行事の準備とともに、事前に JR 鯖江駅の許可を取り、駅前で啓発グッズを配る活動を企画した。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

① 福井市子ども家庭センターの啓発ボランティア募集に応じ、福井市内ショッピングセンター「エルパ」での啓発運動に申し込み、7月13日に3年生4名が参加した。揃いのTシャツを着て、福井市のゆるキャラ「朝倉ゆめまる」といっしょにバッジや文具など啓発用グッズを配布した。(7/13)

②県 JRC 高校生部会「国際交流の集い」の縁日ブースで、県内在住の外国人や留学生、青年赤十字の大学生、国際交流に関心がある一般の方々に1, 2年生部員がチラシと啓発用マスクを配布した。(10/26)

③全国一斉運動期間に合わせ、JR 鯖江駅前の路上で一般の方々に鯖江高校 JRC 部員がチラシと啓発用マスクを配布した。(11/5)

③オレンジリボン運動を終えて

鯖江駅前の活動では本校卒業生の方も多かったようで、制服で啓発運動をする生徒らに複数の方々が「私も卒業生です」と話しかけるなど、暖かな雰囲気だった。

これから社会へ出る高校生にとって、子どもとの関わりを考えるよい機会となった。

地域の人々や他校の JRC 部員にもオレンジリボン運動を知ってもらうことができ、意義のある活動ができた。

